



Rodoku News

朗読ニュース

2020年
早春号

新春のご挨拶

「上手、下手」



「上手」「下手」という言葉は日常さまざまな場面で使われる。朗読に於いても、あの人はうまいわね、じょうずね。へたね。という声をしばしば耳にする。

漢字の「手」とは技量、腕前のこと。下手（へた）とは端、辺から来ている言葉なので、奥が深くないこと。日常ではいくら使ってもいいけれど、朗読には使いたくない。

朗読に上手下手は関係ない。ただの技ではない。上手（かみ

て）と下手（しもて）の違いではない。上も下もない。でも表現の深さと幅、重くても柔らかい、軽くても爽やか、その味の差こそ朗読する側、聞く側の喜びに繋がる。説明できない世界に引き込む力がある。

下手でもいい。「下手の横好き」という魅力的な言葉もある。いいではないか。深く限らない朗読世界に挑戦の皆様、今年もよろしく願いたします。

名誉会長 加賀美幸子



協会活動は会員が主役です。

新年明けましておめでとうございます。昨年10月に開催を予定しておりました「第9回朗読コンクール」は台風19号の直撃を受け、本年2月1日に延期せざるを得ませんでした。自然災害とはいえ、多くの方々

に大変なご迷惑をお掛けすることになりました。その意味でも今回は協会の総力をもって臨みたく皆様のご協力をお願いいたしました。

一昨年スタートした新体制はNPOが基盤とする「自発的で

あること」を前提にしており、協会活動は会員一人ひとりの手によって成り立っております。昨年末会員数は過去最高の178名になり、大きな力となっております。更に、昨年それぞれの専門分野で活躍されている4名の方々に新しく理事として加わっていただきました。今年はこれまで以上に組織の活性化を図り、理事を含めた会員相互の連帯感を深め、朗読文化のさらなる普及と発展に一層寄与してゆくことを期待いたします。

理事長 伊澤逸平



上野誠 講演会「令和と万葉集と」2020年2月29日(土)開催

難しいことを、わかりやすく。
わかりやすいことを、楽しく。
楽しいことを、深く。

万葉集のスペシャリスト奈良大学教授上野誠先生による講演会を開催いたします。会場は、日比谷図書文化館日比谷コンベンションホールです。

上野先生は古代史、古 代文学、民

俗学などに造詣が深く、私達にもとても分かりやすくお話しくださいます。元号「令和」も万葉集が出典ですね。朗読者として、日本最古の歌集、日本人の心のふるさと「万葉集」を学びましょう。

多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

実行委員長 白田敦子

上野誠の万葉エッセイ <http://www.manyou.jp/>



第12回 朗読アラカルト 2019年12月2日(月)		高輪区民ホール 15:30開演	
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『花さき山』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『津軽』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『テレビとうま』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『デューク』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『金子みすゞ詩集』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『ちよつとだけ』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子
朗読書	『いとしの犬ハチ』	朗読者	阿部裕子
朗読者	阿部裕子	朗読者	阿部裕子



初心忘るべからず…

今回の「朗読アラカルト」は、多くの初参加者の姿がありました。その初々しさと、朗読舞台に真摯に向かう姿勢に感銘を受け、「初心」という言葉を思い出しました。

「初心忘るべからず」とは、世阿弥の言葉です。「初めの志を忘れてはいけない」という

意味に使われますが、じつは「初心」とは、それだけではありません。世阿弥は「人生にはいくつもの初心がある」として、若い時の初心、人生の時々々の初心、老後の初心。それらを忘れてはならないと説いているのです。

ならば初登場の方も常連の方も、それぞれの「初心」を忘れないこと。そして、できうれば「出ハケ」や朗読スタートのタイミングも忘れずに…。

わたしも、演出の「初心」に戻りたいと思います。

演出 倉田ひさし



「第12回朗読アラカルト」を終えて

令和元年12月2日(月)港区高輪区民ホールにて開催致しました。朝からの悪天候の中、大勢のお客様や会員の方にご観覧頂き盛況の内に終わらせることができました。

「初心者に開かれた朗読会」をコンセプトに今回は7名の方が初挑戦され、「初舞台であがってしまったけれど知人に『感動的でした』と云われ鼻が高くなりました。出演してよかった」などの感想も頂きました。各ステージ、経験豊富な方々に引張って頂き、一人ひとりの10分間に30人の声で30の物語をお届けする事ができました。出演者の清々しい表情とお客様の笑顔はスタッフへの何よりのプレゼントになりました。

沢山の方に支えて頂きました事に心より深く感謝申し上げます。

実行委員長 小黒三重子

はじめてスタッフ参加して

先日のアラカルト朗読会、スタッフとして参加させて頂きました。立派なホール、プロの演出で音楽・照明まで付けていただけるなんてさすがだ



と思いました。恵まれた環境で朗読活動させて頂けることに感謝しています。

中智子

à la carte

「第12回朗読アラカルト」
初参加者のひとこと



「花さき山」…阿部裕子

初舞台上がってしまいました。「感動的で、朗読された本を読みたくまりました。誘って下さり有難う」と友人等から言われ嬉しく感謝です。「気持ちのいい朗読で次が楽しみです」と先生からお言葉も頂き有難く思いました。



「津軽」太宰治……大槻之子

私は太宰治「津軽」の、独特の笑いのセンスを表現したく朗読してはみたものの、オチの部分の不完全燃焼に、彼の「まだまだですね」との声が聞こえてきそう！アラカルトなラインナップに発見の多い一日でした。



「テレビとうま」住井すゑ……杉崎千明

はじめての経験で心臓バクバクでしたが、スタッフの皆様の暖かい後押しに勇気付けられました。皆様の力が一つになり作り上げる場に感激いたしました。有難う御座いました。



「デューク」江國香織……鈴木裕美

初舞台は、緊張の中にも楽しんでいる自分がいました。朗読の奥深さを改めて感じ、もっと深く拘っていきたく強く思った一日となりました。これからも一瞬を大事にしながら精進して参りたいと思います。



「金子みすゞ詩集」より 金子みすゞ
……中村恵子

緊張と不安で迎えた初出演でした。無事に読み終えることが出来まして安堵しております。支え、サポートして下さいました先生、スタッフの方々に心より御礼申し上げます。



「ちよつとだけ」滝村有子……丸山聡子

演出家の方と先生にもご指導を受け、改めて本の奥深さを知り、ご指摘通り読むことで側面の印象が変わることを体感できました。当日は緊張しましたが、本を通して自ら表現しそれを聞いて頂いた機会に感謝しています。



「いとしの犬ハチ」いもとようこ
……三浦久司

時々有料老人ホームで読んできましたが、今回のようなホールの出演は久しぶりです。この会場は自宅に近い事もあり、出演を申し込みました。男性の出演者が少ないのが残念でした。

第18回「朗読の日」

「朗読の日」は2003年に、銀座博品館劇場にて開催されて以来、今年は18回目を迎えます。出演者も決まりました。今後研鑽を重ねて6月20日（土）・21日（日）の本番に臨みます。



第17回「朗読の日」カーテンコール

第9回朗読コンクール

台風のため、やむを得ず延期しました「朗読コンクール」は、2月1日（土）に開催されました。結果はあたらしくなったホームページでご覧ください。



第8回「朗読コンクール」表彰式



朗読ボランティアグループ「かもめ」

かもめは毎月の訪問に加え、依頼に応じて朗読会を行っています。定例会では朗読の勉強、AEDの使い方講習会等にも取り組んでいます。



今年3月20日（金・祝）高輪区民ホールで2年に一度のかもめ朗読会を行います。

朗読ボランティアの実践も交え、かもめならではの会になる予定。新入会員も増えワンチームになってお届けいたします！

かもめ代表 稲本由美子



Aステージのフィナーレ



Bステージのフィナーレ



Cステージのフィナーレ



Dステージのフィナーレ

TOPICS

朗読ニュース トピックス



内藤和美講師
令和元年度文化庁芸術祭「優秀賞」
（大衆芸能部門）を受賞!!
喜びのコメントが届きました。

この度の受賞は私にとって身に余るものですが、朗読の世界がもう一步深く理解されたようで嬉しい限りです。

素晴らしい作品に出逢うことの幸せ。それを表現することの難しさ。しかし、聴き手に届いた時の一体感はいも言われぬものがあります。

この受賞をスタートとしてこれからも真摯に歩いていきたいと思っています。

内藤和美

八重洲朗読会

初めての出演でとても緊張しましたが、会場のお客様が真剣に聴いてくださり、とても勇気づけられました。朗読コンクール本選で朗読した太宰治にもう一度挑戦したくて「貨幣」を選びました。一人称で語る朗読は難しいものでしたが、私

自身にとって大きな経験になりました。このような機会を与えてくださり本当にありがとうございました。

木村さおり



第116回、2019年9月21日



第117回、2019年11月16日



第118回、2020年1月25日

古典研究会

「今年の夏 何をした？」と問われたら「伊勢物語をひたすら読んだ!!」と…。オリジナルの台本による伊勢物語朗読会は11月4日無事終了しました。

映像も音楽も自前。演者がスタッフも兼ねる学習センターでの手作り朗読会。朗読の日の会がいかに恵まれていたか…実感しました。13人の仲間と紡いだ日本で最初の歌物語は、昔の少女に大志を抱かせました!!

古典研究会 羽村郁子



図書館朗読会

12月7日(土)、文京区の本駒込図書館で「冬の朗読会」が開催されました。第一部は文京区ゆかりの作家として、夏目漱石の自伝『僕の昔』を塩田睦子が、森鷗外の『雁』を三上実枝子が朗読しました。

第二部は井上靖と沢村貞子作品、第三部は余興的内容で、東北の方言詩は珍しいのか笑いが起こりました。さらに「サラリーマン川柳」を会場のお客さんにも読んでもらったことで、舞台と一体となって、大いに喜んでいただけたと思います。

塩田睦子



2019年12月7日、本駒込図書館にて。



2019年11月22日、北新宿図書館にて。

次回は
❀2月15日(土)北新宿図書館
 蒔村三枝子 古内恵美子

資生堂朗読会

みなとみらい資生堂S/PARKの研究所の方々向けの朗読会でした。「美とひらめき 出会う場所」というテーマ通り美しい近未来の空間、読み手としてもワクワク感が広がります。「大人の朗読会」として17時から約一時間。詩・エッセイ・志賀直哉作「転生」角田光代作「口紅のとき」を朗読。皆さんと一



緒に短文を読むというひとときも楽しみました。

飯島晶子
稲本由美子

リラの会

朗読講師連絡会では、その中から「リラの会」を立ち上げました。

第1回の朗読会を7人で9月13日協会事務室のある白川ビル1階のピアノカフェ・ベビシュタインにて開き、初めての会場に多くの皆様にご来場下さり本当に感謝申し上げます。



今後の願いとして年1回皆様に喜んで頂ける朗読会をと夢膨らませ、努力して参りたいと思っております。新生「リラの会」よろしくお願いたします。



リラの会代表
安田綾子

千葉・いきいき大学

10月7日、千葉・いきいき大学教養文化教室で「百薬の長、実は朗読なり～楽しい・嬉しい朗読は脳を活性化する～」と題して阿部侗奈と飯島晶子が話と朗読。



朗読の効果を実感して頂くため、米寿の斎藤直子も朗読で参加。300名を超える参加者には、一緒に声を出すなど、あっという間の楽しい2時間を過ごして頂きました。

阿部侗奈

公共施設でのクリスマス会

12月19日(木)都内公共施設で行われたクリスマスパーティに参加しました。

プログラムは、クリスマスにちなんだお話の他、笑い話や紙芝居、早口言葉やクイズで頭やお口の体操も。約50名のお客様と一緒に、歌ったり、笑ったりの楽しい時間。「楽しかった!」「素敵なお話をありがとう」の言葉が何よりのクリスマスプレゼントでした。



中田真由美
中村悦子

その他の活動

★オリエンテーション

4月、9月、12月と5回のオリエンテーションを開催いたしました。自己紹介、協会の趣旨・歴史・組織・行事・広報物や保険等について説明。またミニ朗読タイムも楽しみました。「令和



のいわれ「18歳と81歳の違い」等を皆で朗読。明るい声の連鎖に新入会員の皆さんの笑顔

が輝きました。皆さんの協会での活躍を期待しています。

事業運営室長 飯島晶子

★プチサロン朗読会

今期は、広尾の洋菓子店ルコントで4回、協会事務室のある白川ビル1階のピアノカフェ・ベビシュタインで1回開催しました。



掲示板 会員の朗読会と活動情報(2020年2月~2020年8月)

日 時	公演名	場 所	出演者名
2月1日	第9回朗読コンクール本選&特別講演	赤坂区民ホール	朗読コンクール実行委員会
2月1日	漱石山房朗読会	漱石山房記念館	深澤真理子 本間恵子
2月4日	社協朗読サロン 憩	千城台東自治会館	市原タツ子
2月8日	三田いきいき朗読会	三田いきいきプラザ	宮崎弥生
2月8日	青木ひろこ榎谷結実枝の北歐紀行VOL.4	コム・ポア・ラクテ(宇都宮)	青木ひろこ
2月11日	民話 千葉のむかし話	青葉の森公園芸術文化ホール	市原タツ子
2月15日	北新宿朗読会~早春~	北新宿図書館	蒔村三枝子 古内恵美子
2月19日	朗読ワークショップ	新橋ばる一	河崎早春
2月21日	花籠語り部金曜会	歌舞伎座3階 花籠ホール	内藤和美
2月29日	令和と万葉集と	日比谷図書文化館日比谷コンベンションホール	講演実行委員会
2月29日	青木ひろこ榎谷結実枝の北歐紀行VOL.5	サネ カフェ&ギャラリー(古河)	青木ひろこ
3月1日	朗読ワークショップ	新橋ばる一	河崎早春
3月3日	三田寺子屋朗読会	田園調布倶楽部	新関淳子 羽村郁子 宮崎弥生
3月5日	リーディング・カフェVOL.35 現代音楽と共に	パ・ド・ドゥ	青木ひろこ
3月7日	武者小路実篤記念館 公開ワークショップ「朗読で感じる実篤」	仙川ふれあいの家	河崎早春
3月14日	語りと朗読の会	ハートストリングス	内藤和美
3月14日	朗読の部屋	港北図書館	松本由美子
3月15日	アンダンテ・東日本大震災遺児の為にチャリティ朗読会	ティアラこうとう	蒔村三枝子
3月20日	かもめ朗読会	高輪区民センターホール	朗読ボランティアグループ「かもめ」
3月21日	声の劇場	東武ホテルレバント東京	永井喜代子
3月23日	春の朗読会	千城台キリスト教会	市原タツ子
3月26日	資生堂朗読会	みなとみらい資生堂エスパーク	内藤和美 渡部玲子
3月27日	原宿三人会	原宿アコスタジオ	蒔村三枝子
3月28日	第119回八重洲朗読会	八重洲ブックセンター	五十嵐和子 植田聖子 清水美代子 羽村郁子
3月29日	綾・紋の会 大人のための朗読会	茂原市立図書館	佐藤すみ江
3月29日	朗読 三人の会	東京ガーデンパレス	阿部例奈 三上実枝子
4月2日	三人寄れば	ピアノカフェ・ベビシユタイン	田中邦子 早川とし子 松島邦
4月4日	カドゥ・アンサンブル第5回公演「西澤実作品を読む」	原宿アコスタジオ	川口和代
4月16日	春の朗読会	錦糸町テルミナ	永井喜代子
4月17日	春うらの朗読会	ティアラこうとう	蒔村三枝子教室受講生
4月18日	つくば朗読館	つくば市ノバホール	内藤和美
4月23日	不知火、海の言霊(苦界浄土より)	南青山マンダラ	蒔村三枝子
5月7日	リーディング・カフェVOL.36 現代音楽と共に	パ・ド・ドゥ	青木ひろこ
5月9日	朗読&トーク「ニューヨークの魔法」が高円寺にやってくる!	座・高円寺カフェ アンリ・ファープル	前尾津也子 久木崎なお江 中田真由美 雪乃
5月23日	赤坂朗読グループ「風」第9回朗読会	日本近代文学館	稲本由美子
5月29日	近代文学をたずねて	日本近代文学館	佐々木富紀 深澤真理子 本間恵子 宮崎弥生
6月3日	公津の杜朗読会	ユアエルム成田	永井喜代子
6月20・21日	第18回「朗読の日」	博品館劇場	「朗読の日」実行委員会
6月26日	柏朗読会	柏スカイプラザ	永井喜代子
7月2日	ショートファンタジー(安房直子)の世界	パ・ド・ドゥ	青木ひろこ
7月10日	ドラマリーディング「父と暮らせば」	南青山マンダラ	蒔村三枝子
7月14日	「女優」—松井須磨子の生涯—	なかの芸能小劇場	成瀬芳一教室受講生
7月21日	柏菜の花朗読会	柏スカイプラザ	永井喜代子
8月11日	被爆ピアノコンサート&映画「未来への伝言」	練馬文化センター小ホール	飯島晶子

事務局からのお知らせ

★会費更新のお願い

2020年度年会費の振込用紙を同封しました。3月末日までにお手配をお願い致します。年会費 正会員：12,000円 学生会員：5,000円
(学生証のコピーを送付下さい)

★ボランティア保険加入(期間:2020/4~2021/3)のご案内
全会員を基本コースに加入申込み致します(保険料は協会負担)。追加で天災コースをご希望の方は、年間保険料300円を会費と共にお振込下さい(通信欄にその旨をご記載下さい)。
また、ボランティア保険を他所で加入済の方は事務局へご一報下さい。

★八重洲朗読会登録審査

締切は年2回3月末・9月末です。審査希望の方は、事務局へお申込下さい。

★会員情報(2019年7月~12月入会順 18名)

新入会員：竹内貴久枝・川本浩美・桜さゆり・矢澤瑠音・中町優子
竹田ますみ・片桐真奈・杉崎千明・齋藤とも子・鈴木もえみ
池田雅子・鳥羽さち子・中智子・上本京子・雨野映子・木村陽子

千葉聖子・朝比奈恵美

★朗読教室

4月期会員の申込受付開始は2月17日(月)10:00~です。
詳細は同封の「朗読教室のごあんない」をご覧ください。

★ご寄附ありがとうございました

加賀美幸子 藤麗加

編集後記

令和になって初めて迎えた新年の「朗読ニュース」です。「朗読アラカルト」に初出演なさった方々の初々しいひと言、私達会員一人一人もその頃の気持ちを忘れず、また新たに前進したいものです。朗読する楽しさ喜びを伝える事、そして支える事のご協力もよろしくお願い致します。記事をお書き下さった皆様本当にありがとうございました。楽しくお読み下さい!(W)

担当：佐藤すみ江・田中邦子・渡部玲子

